



## クリーン&グリーン部会

### 松本千晶副議長

次に、クリーン&グリーン部会 44番 宇都宮短期大学附属高等学校 榎木知美さん、45番作新学院高等学校 岡田恵美さん。

### 44番 榎木知美議員

議長，44番

### 45番 岡田恵美議員

議長，45番

〔44番 榎木知美議員，45番 岡田恵美議員 登壇〕

### 44番 榎木知美議員

44番 宇都宮短期大学附属高等学校 榎木 知美です。

宇都宮市のごみ問題について質問いたします。

ごみは人が生活していくうえで毎日出ています。私たちは、この1番身近で、1番自然環境を守ることにつながるごみの減量を1つのテーマとして提案していきたいと思います。

初めに、生ごみについてお聞きします。宇都宮市の家庭からでるごみで一番多いのは、生ごみです。市では、家庭で生ごみを処理するコンポスト容器などの購入費の一部を補助していますが、そのようなコンポスト容器などで処理した後の堆肥の使い道がなく、利用できない家庭もあると思います。このことについて、市ではどのように考えていますか。

また、現在、小・中学校の給食から出ている生ごみを回収し、その生ごみをきちんと加工し、豚などの家畜のえさなどにしていますが、学校給食の他に、コンビニやスーパーなどからでた賞味期限切れのお弁当などや、飲食店から出る生ごみも、同じように市で回収することはできないのでしょうか。

次にエコショップ認定制度についてお聞きします。

現在、宇都宮市ではエコショップという名称で、簡易包装を実施したり、食品トレイや紙パックの店頭回収を行ったりして、ごみの減量化やリサイクル活動に積極的に取り組んでいるスーパーや小売店の加盟を募り、制度を実施していますが、そのエコショップの存在があまり市民に知られていなく、機能していないように感じます。実際、エコショップ認定のしるしとされているシールがお店の目につきやすい場所になかったり、エコショップの取組みなどについてのポスターなどの掲示を目にする機会も少なく、これでは消費者には宣伝できないと思います。しかし、このようなエコショップが増えれば、市民の意識も高くなり、食品トレイや紙パックの店頭回収も増え、ごみの

減量につながると思います。

そこで、私たちはエコショップの利用者を増やすために、宣伝を強化するとともに、例えばエコショップ加盟店全体で使えるポイントカードを作り、レジ袋を断るとポイントがもらえ、そのポイントをためると、何か商品に換えられたり、割引になるような工夫があればいいと考えましたが、実施は可能ですか。

以上で質問を終わります。よろしく申し上げます。

#### **45番 岡田恵美議員**

45番 作新学院高等学校 岡田恵美です。

都市緑化推進についてお伺いします。

緑はストレス社会と呼ばれる、心に余裕がない世界で生活する私たちを癒してくれて、安らぎを与えてくれる身近な存在です。しかし、残念ながら、そのような緑が宇都宮市の市街地では、東京などの大都市などと比べてみても少ないように感じられます。このことは、市民の緑の大切さに対する意識や理解が、まだまだ足りないことの表れではないでしょうか。

現在、市で行われている緑化推進事業について、市の方にお聞きしたところ、宇都宮市内ではまだまだ各種事業への参加団体が少なく、機運の盛り上がりには欠ける印象を受けました。

しかし、このことは、情報や参加機会などが少ない事が原因であって、実際には緑化推進事業への関心や理解を持っている人が数多く存在するのではないのでしょうか。

そこで私たちは、緑化推進に少しでも関心がある人を掘りおこして機運を盛り上げるため、次のような提案をしたいと思います。

まずは、緑化への関心を持っている人が集えるホームページを作成し、その中で各種情報等をメールで案内する無料配信サービスの提供です。

ホームページをのぞいてもらった中で、希望者には積極的に情報の交換及び提供ができる仕組みをつくり、また、活動内容を紹介し、みんなの励みになるようなコーナーを作ると良いのではないかと考えます。ここで大切なことは、ホームページの存在を、いかに市民に知ってもらおうかということです。ホームページの存在がみんなに分かってもらえないと、意味のないものになってしまうので、例えば、目立つ場所にポスターや看板などを設置し、ホームページのアドレスを載せたり、気軽にアクセスできるバーコードリーダーを提示させるなどして、ホームページそのものをアピールしていくと良いと思います。

私たちはこのように考えますが、これについての見解をお聞きします。

以上で質問を終わりにします。よろしく申し上げます。

#### **岡地和男環境部次長**

議長、環境部次長

#### **松本千晶副議長**

環境部次長

〔岡地和男環境部次長 登壇〕

### 岡地和男環境部次長

ごみの減量化や資源化につきましては、地球環境を保全する上で大変重要なことであり、ご質問をいただいた榎木議員に大変感心いたしました。

それでは榎木議員のご質問にお答えいたします。

まず、「ごみ問題について」のうち、「家庭におけるコンポスト処理後の堆肥の使い道について」であります。生ごみを堆肥にするコンポスト容器や電動式生ごみ処理機は、現在までに約 19,000 世帯の方に利用いただいております。家庭から出る生ごみの減量化・資源化に効果を上げております。

議員ご指摘のとおりコンポスト容器などにつきましては、処理後の堆肥の使い道がないことなどにより、利用を控える世帯もあることから、今後は、コンポスト容器などの利用促進を図るため、できた堆肥が地域の農家などで有効に活用できるような方法を検討してまいります。

次に、「コンビニやスーパーなどから出る生ごみの回収及び再利用について」であります。コンビニやスーパーなどから出る生ごみにつきましては、コンビニやスーパー自らが減量化・資源化するなどの処理を行なうこととなっております。

このような中、市内に民間事業者による生ごみを堆肥にする資源化施設が建設され、8 月から操業を始めましたことから、この施設の利用が促進されるようコンビニやスーパーなどに対しまして、積極的に P R を図ってまいります。

次に、「エコショップ認定制度の宣伝の強化及びエコショップ加盟店におけるポイントサービスの実施について」であります。エコショップ認定制度につきましては、昨年に創設をし、現在までにスーパーマーケットなど 38 店舗を認定しております。

まず、「宣伝の強化について」であります。エコショップ認定制度や認定店について、市のホームページや広報紙に掲載するとともに、各種のイベントにおいて、パネル展示やチラシ配布により P R に努めております。

今後は、認定店と分かるように、認定シールを目立つようなサイズに見直ししたり、P R 活動を強化するなど、制度の周知をさらに図ってまいります。

また、「ポイントサービスの実施について」であります。現在、認定店のおよそ 8 割にあたる 30 店舗がレジ袋を断るとポイントがもらえ、そのポイントが貯まると割引になるような制度を行っております。このようなポイントサービスは、認定店の利用者を増やし、認定店の拡大を図る上でも有効であると考えられますことから、未実施の認定店はもちろん、新たに認定する店舗に対しましても、ポイントサービスの導入を積極的に働きかけてまいります。

### 栗田健一都市開発部次長

議長、都市開発部次長

**松本千晶副議長**

都市開発部次長

〔栗田健一都市開発部次長 登壇〕

**栗田健一都市開発部次長**

緑を大切に思い、都市緑化の推進に関心をもっていただき、ありがとうございます。

それでは、岡田議員のご質問である「都市緑化の推進について」お答えします。

都市緑化の推進につきましては、花や緑に包まれた潤いある美しいまちをつくって行くため、今ある緑を守り育てることとあわせて、議員と同世代の若い皆さんをはじめ、多くの市民に、緑の大切さを理解していただくことが重要だと考えています。

こうしたことから、本市では、緑化に関する情報発信につきまして、新聞や広報うつのみやに掲載するなど、いろいろな方法で行っております。

議員ご提案のホームページへのアクセス方法の拡充やメールの無料配信など、身近な手段や方法を取り入れることは大変有効であると考えておりますので、その実現に向けて、今後、積極的に検討して行きたいと思っております。

**松本千晶副議長**

以上で、クリーン＆グリーン部会の質問を終わります。

発言通告者の発言は終了しましたので、一般質問を終結いたします。